

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4078700194
法人名	社会福祉法人 竹里会
事業所名	グループホーム あぜ道
所在地	福岡県みやま市瀬高町大江2289-1 (電話) 0944-62-6888

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成19年7月11日	評価確定日	平成19年9月14日

【情報提供票より】 (平成19年6月27日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 2月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 7人 非常勤 1人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要 (平成19年6月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87.5 歳	最低	76 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山内医院(内科・一般診察) ヨコクラ病院(総合)
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園地帯の広大な敷地に立地する平屋木造の事業所には、母体施設の医院や介護施設が隣接している。中庭を中心に配置された居室やリビングは、自然の明かりや風が十分採り込まれ、段差の少ない中庭へは自由に出入りができる。各居室にはトイレが設置されている。利用者と職員は、毎日一緒に食材料の買い出しから後片付けまでを行い、利用者が手入れした中庭の芝生を前にして一同での和やかな食事風景は、昔の大家族を思わせる。運営者は「そのまままぼちぼちこうよ、どうぞあぜ道だから気楽に寄ってください」との思いがあり、地域との繋がりを大切に、積極的に地域との関わりをつくっている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価結果について職員で改善点を検討し、介護計画期間の見直し、介護計画を了承した本人、家族のサインを得る等、改善課題について具体的に取り組んでいる。今後は、介護計画の見直しを行う際も、書類の整備をしてほしい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全職員で協議して取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 定期的に運営推進会議を開催している。現状や今後の活動計画等を報告し、委員から意見や質問、要望をもらっている。外部評価については、前回の改善課題への取り組みを報告し、今回の自己評価は委員会に諮っている。委員会の意見で地域との交流を深める等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9) 投書箱やアンケートを玄関に設置している。また、重要事項説明書に苦情相談窓口を明示し、第三者委員会も設置している。利用者の状態に合わせた食事を提供する等、家族の意見を運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 年2回の河川浄化活動に職員と共に利用者も参加したり、散歩の際に自主的に清掃を行っている。また、地域から漬物漬け指導者を募集したり、祭りや催し物等に参加して、積極的に地域との交流に努めている。

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの視点を加えた事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月2回のミーティングで復唱したり、玄関、フロアに掲示している。また、理念を職員個人で毎朝確認し、常に理念を念頭に置いて日々のケアにあたっている。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年2回の河川浄化活動に職員と共に利用者も参加したり、散歩の際に自主的に清掃を行っている。また、地域から漬物漬け指導者を募集したり、祭りや催し物等に参加して、積極的に地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全職員で協議して取り組んでいる。前回の評価結果は、職員間で改善点等を検討している。介護計画を3ヶ月に1回見直し、家族から了承したサインを得るよう、具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催している。現状や今後の活動計画等を報告し、委員から意見や質問、要望をもらっている。外部評価については、前回の改善課題への取り組みを報告し、今回の自己評価は委員会に諮っている。委員会の意見で地域との交流を深める等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議のみの連携に留まっている。	○	事業所が抱えている問題の相談や現状を報告する機会をつくる等、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでほしい。
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は、母体法人の研修に参加し、職員は研修資料をいつでも確認できるようにし、内部研修を実施して周知を図っている。また、玄関には成年後見制度のパンフレットを置き、利用者や家族等に情報を提供している。説明が必要な場合は、管理者やサブリーダーが説明している。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪が頻繁なため、事業所での暮らしぶり等の報告は、その都度行っている。また、月1回便りを送付したり電話をする等、個々に合わせた報告をしている。金銭管理については、利用者毎に出納帳を作成し、領収書も整理して、定期的に報告をしている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱やアンケートを玄関に設置している。また、重要事項説明書に苦情相談窓口の明示し、第三者委員会も設置している。利用者の状態に合わせた食事を提供する等、家族の意見を運営に反映させている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動を必要最小限に抑える努力をしているが、法人内で異動した際は、利用者が希望すればいつでも会えるように努め、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用では、事業所への思いを大切に、性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。配置や昇進等の差別もなく、職員の得意分野を活かせるよう配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>職員採用時に、人権やプライバシー、個人情報等について手帳を渡して説明している。また、職員は母体法人での研修に参加し、研修資料は事業所にいつでも確認できるように保管し、研修報告を全体会議で行っている。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修を受講する機会を確保し、その研修内容は他の職員に報告して周知を図っている。受験資格がある職員には、介護支援専門員等を取得するよう勧めている。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者及び職員は、母体法人を通じて他の事業所と交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていく取り組みがある。</p>		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事業所見学や体験宿泊等を実施して、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と共に料理や野菜作り、草取り等を行い、職員が知らない生活の技を利用者から教えてもらう場面がある。職員と利用者は共に過ごし、学び、支えあう関係を築いている。</p>		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族等から思いや希望を聴くよう努めている。本人の思いや意向の把握が困難な場合は、行動や表情等から、本人本位に検討している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者及び家族の意向を聴き、利用者の担当職員をはじめ全職員で意見を出し合って、利用者がよりよく暮らすための介護計画を作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎に見直しを行っている。また、状況の変化に応じて本人や家族の意向を聴き、連絡ノートに記録している。</p>	○	<p>今後は、介護計画の見直しを行う際も、書類の整備をしてほしい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の入院時は面会に行き、家族や医療機関と連携を密にし、早期退院に向けて取り組んでいる。かかりつけ医への送迎は、家族と相談の上、職員も支援している。</p>		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者及び家族の希望するかかりつけ医での受診を支援している。</p>		
22	49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に、利用者及び家族と重度化や終末期について話し合っている。本人や家族の希望や本人の状態に合わせた支援が行えるよう、本人、家族、医療機関と繰り返し話し合い、職員を含めて全員で方針を共有している。</p>		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>新任研修で個人情報保護法を学び、利用者一人ひとりを尊重した対応をしている。</p>		
24	54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床や散歩等、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の食材の買出しや食事、食後の片付けまで、職員と共に行っている。利用者の状態に合わせて調理を工夫している。利用者は使い慣れた食器を持ち込み、家庭的な雰囲気を味わっている。</p>		

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、自由な時間に毎日の入浴ができるよう支援している。入浴拒否する利用者には、声かけ等や対応を工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴を把握している。中庭芝生の雑草取りや草刈り、菜園での野菜作り、干し柿や門松作り、日めくり暦の作成等、多様な場面の支援をしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や利用者の状態を考慮して、毎日の散歩や買い物、花見やピクニックを支援している。月1~2回、遠方への外出支援もしている。家族協力のもと、年1回1泊の温泉旅行も行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠しておらず、全家族の了解を得て、チャイムを取り付けている。外出傾向のある利用者については、職員の連携で見守りに取り組んでいる。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルがある。年2回、防災訓練を実施し、避難経路や避難場所の確認している。防災訓練記録があり、非常用備品を準備している。非常時は隣接施設の協力を得られるようにしている。田園地帯で近所は離れており、区長を通じて防災訓練の参加を働きかけているが、住民の参加は難しい状況である。	○	非常用食料も準備してほしい。

2. 評価結果 (詳細)

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量の記録は全利用者分あるが、水分摂取量の記録は必要な利用者のみである。食事のバランスについては、栄養士からアドバイスを受けている。</p>	○	<p>全利用者の水分摂取量も把握し、記録してほしい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>調度品は家庭的であり、長火鉢を置き、家庭的で落ち着いた空間となっている。また、一角に七夕飾りがあり、季節感を採り入れて居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、テレビ、ラジオ、小物入れ、時計、手芸品、カレンダー、孫の写真等、馴染みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		

※ は、重点項目。